

対象高等専門学校の現況及び特徴

1 現況

(1) 高等専門学校名

明石工業高等専門学校

(2) 所在地

兵庫県明石市

(3) 学科等構成

準学士課程：機械工学科，電気情報工学科，
都市システム工学科，建築学科

専攻科課程：機械・電子システム工学専攻，
建築・都市システム工学専攻

(4) 学生数及び教員数（平成17年5月1日現在）

学生数						単位：名
準学士課程	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	合計
機械工学科	43	44	42	44	38	211
電気情報工学科	41	43	42	45	41	212
都市システム工学科	42	41	39	40	35	197
建築学科	44	37	43	40	43	207
計	170	165	166	169	157	827

専攻科課程	1学年	2学年	合計
機械・電子システム工学専攻	10	11	21
建築・都市システム工学専攻	16	11	27
計	26	22	48

教員数					単位：名
区分	教授	助教授	講師	助手	合計
機械工学科	5	3	3	2	13
電気情報工学科	5	6	1	2	14
都市システム工学科	5	3	1	2	11
建築学科	5	1	3	2	11
一般科目	7	8	3	0	18
計	27	21	11	8	67

2 特徴

明石工業高等専門学校（以下本校という。）は、高専制度創設第一期校として昭和37年4月に設置された。開校時は、機械工学科，電気工学科，土木工学科の3学科であったが，昭和41年には建築学科が増設され4学科体制となった。建築学科は，近畿地区の高専で唯一本校だけに設置された学科である。以後，時代の要請に応えるべく，平成6年には土木工学科が都市システム工学科へ，平成11年には電気工学科が電気情報工学科（4年次以降コース制）へと改組された。

また，高専の特色を生かした高度な実践的工学教育実施のため平成8年に2年間の専攻科（機械・電子システム工

学専攻，建築・都市システム工学専攻）を設置した。

本校は，「人間味豊かで，創造力があり，如何なる困難にも屈しない強固な意志と厳しい試練にも耐えうる強健な身体とを持ち，豊かな教養があり，工学についての基礎学力が十分で，実践的技術に優れた人物を養成する」という教育方針の下に，多数の実践的技術者を輩出してきた。専攻科設置を機に，さらに「多角的な視点」を持ち「国際的」に通用する技術者を育成すべく新たな教育サービスを提供している。多角的な視点については，他学科の科目の履修，単位互換協定に基づく神戸大学工学部・理学部での科目履修（平成14年から），長岡技術科学大学のWEB講義の履修（平成16年から）を認めている。国際性については，TOEICの団体受験，e-Learningの導入及び一定以上のTOEICスコアにより単位取得可能な科目の新設並びに海外大学への語学研修を実施している。

平成15年には，本校の「共生システム工学」教育プログラムが，兵庫県内の高等教育機関として初めてJABEE認定プログラム（工学（融合複合・新領域）関連分野）として認められ，国際的な基準を満たす教育であることが評価された。

卒業生の進路は，就職と大学等への進学である。就職については，国内経済状況の影響を受け，求人数が減少してはいるが，就職希望者数の減少もあり，求人倍率は10～20倍以上の高率を維持し，就職希望者の就職率はほぼ100%である。大学へ編入する卒業生は約60%（本校専攻科進学を含む）であり，編入先も工学部，理学部及び農学部といった自然科学系学部だけでなく，経済，法学といった社会科学系学部へも編入している。進学率は年々増加する傾向にあり，専攻科修了生の大学院進学率も向上している。

平成9年には，産学連携強化を目指して地域共同教育研究センター（平成12年に明石高専テクノセンターと改称）を設置した。同センターでは，学内外で定期的に講演会を開催し，技術者の資質向上や地域の企業・住民との交流を深める活動を行っている。また，教員の研究の実用化にも取り組み，既に2件の特許を取得し，商品化している。

平成14年から兵庫県下の大学との連携強化のために「ひょうご大学連携事業」に参加し，本校教員と他大学教員との連携による技術講演会を開催している。また，大学等地域開放特別事業として，小中学生とその保護者を対象とした「親子で楽しむロボット教室」を毎年開催し，好評を得ている。

